

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 株式会社 トランスジェニック
 コード番号 2342 URL <http://www.transgenic.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 是石 匡宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業推進本部長 (氏名) 佐藤 道太
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

上場取引所 東

TEL 078-306-0590

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	49	—	△171	—	△167	—	△174	—
20年3月期第1四半期	82	△12.2	△174	—	△181	—	△162	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△1,595.59	—
20年3月期第1四半期	△1,492.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	2,651	2,558	2,558	96.4	23,437.48	
20年3月期	2,899	2,730	2,730	94.1	25,014.38	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 2,556百万円 20年3月期 2,728百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	130	—	△270	—	△286	—	△289	—	△2,658.15
通期	360	8.2	△459	—	△478	—	△484	—	△4,443.38

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 109,075株 20年3月期 109,075株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 14株 20年3月期 14株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 109,061株 20年3月期第1四半期 109,061株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1 上記に記載した当期の業績予想につきましては、現時点で、入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に関する仮定を前提としており、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件については、2ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

2 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、原油・原材料価格の高騰等の影響から企業収益は悪化し、景気回復は足踏み状態となりました。

当社グループが事業領域とするライフサイエンス業界をとりまく経営環境も、引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況の下、当社グループは、製薬企業や大学等の研究機関に対し、新薬開発の探索や基盤研究に有用な遺伝情報、受託サービス及び基礎研究用試薬を開発し提供するとともに、当社グループが保有する技術等のライセンス許諾に向けての取組みを進めてまいりました。

また、海外バイオ企業の研究用試薬を国内の研究者にダイレクトに提供するサービスなどの創薬関連サービスのラインアップの拡充にも取り組んでまいりました。

一方、受託案件の採算性の追及や研究開発の効率的な運営体制の整備などのコストコントロールも徹底して実施いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間の当社グループの業績は、売上高は49,713千円（前年同期比39.6%減）となり、営業損失及び経常損失はそれぞれ前年同期比改善の171,094千円、167,882千円となりました。四半期純損失174,016千円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 遺伝子破壊マウス事業

厳しい市場環境や価格競争の影響から受注が減少した結果、売上高は19,970千円（前年同期比62.1%減）となりましたが、受託案件の採算性を追求した結果、営業損失は前年同期比改善の27,860千円となりました。

② 抗体事業

抗体製品や「MARXTMタンパク質高発現細胞作製受託サービス」の受注が好調であったことから、売上高は17,709千円（前年同期比4.1%増）となりましたが、新規技術導入検討にかかる研究開発費の配分増加に伴い、営業損失は前年同期比増の11,361千円となりました。

③ 試薬販売事業

当第1四半期連結会計期間より試薬販売事業の全セグメントに占める割合が高くなったため、試薬販売事業を「その他事業」から分離し、売上高11,001千円、営業損失8,973千円となりました。

④ その他事業

海外バイオ企業の国内代理店業務等により売上高1,032千円、営業損失1,310千円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末（平成20年6月30日）は、流動資産1,978,728千円（前期末比10.7%減）、固定資産672,926千円（同1.4%減）、流動負債84,828千円（同46.7%減）、固定負債8,315千円（同13.3%減）、純資産合計2,558,510千円（同6.3%減）となり、総資産は2,651,654千円（同8.5%減）となりました。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純損失172,750千円（前年同期161,019千円）、未払金の減少59,966千円（前年同期4,550千円）などにより、営業活動によるキャッシュ・フローは△233,124千円（前年同期△151,970千円）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

資金運用を目的とした定期預金の満期による払戻600,000千円などにより、投資活動によるキャッシュ・フローは598,327千円（前年同期898,204千円）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ365,255千円増加し、1,861,846千円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループが事業領域とするライフサイエンス業界は、選別と絞り込みによる厳しい環境にありますが、当社グループは引き続き創薬関連サービスの一層の拡充を図るなど、収益獲得機会の拡大に努めてまいります。

当第1四半期は期初に見込んでおりましたとおり、収益構造転換に伴う減収となりましたが、損益については、前年同期比改善と期初の計画どおりに推移しております。

業績予想につきましては、前回予想（平成20年5月15日発表）より変更ございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

該当事項はありません。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準および評価方法の変更

たな卸資産

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）により算定しております。なお、これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	261,846	2,096,591
受取手形及び売掛金	49,526	64,437
有価証券	1,600,000	—
商品	6,235	7,095
仕掛品	15,707	9,192
貯蔵品	12,092	11,837
その他	33,387	27,887
貸倒引当金	△67	△68
流動資産合計	1,978,728	2,216,972
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	459,317	459,317
減価償却累計額	△103,373	△97,552
建物及び構築物(純額)	355,944	361,764
その他	324,436	324,436
減価償却累計額	△324,436	△324,436
その他(純額)	—	—
有形固定資産合計	355,944	361,764
無形固定資産		
のれん	195,797	198,542
その他	—	1,476
無形固定資産合計	195,797	200,019
投資その他の資産		
その他	121,656	121,171
貸倒引当金	△472	△472
投資その他の資産合計	121,183	120,699
固定資産合計	672,926	682,483
資産合計	2,651,654	2,899,456

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	541	1,387
未払金	46,550	106,840
未払法人税等	3,837	11,253
その他	33,899	39,568
流動負債合計	84,828	159,050
固定負債		
長期リース資産減損勘定	8,315	9,586
固定負債合計	8,315	9,586
負債合計	93,144	168,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,855,225	4,855,225
利益剰余金	△2,297,328	△2,123,312
自己株式	△1,782	△1,782
株主資本合計	2,556,114	2,730,130
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△2,037
評価・換算差額等合計	—	△2,037
少数株主持分	2,395	2,726
純資産合計	2,558,510	2,730,819
負債純資産合計	2,651,654	2,899,456

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	49,713
売上原価	28,926
売上総利益	20,786
販売費及び一般管理費	191,881
営業損失(△)	△171,094
営業外収益	
受取利息	3,396
その他	190
営業外収益合計	3,586
営業外費用	
持分法による投資損失	374
営業外費用合計	374
経常損失(△)	△167,882
特別損失	
固定資産売却損	2,658
投資有価証券評価損	2,208
特別損失合計	4,867
税金等調整前四半期純損失(△)	△172,750
法人税、住民税及び事業税	1,596
少数株主損失(△)	△330
四半期純損失(△)	△174,016

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△172,750
減価償却費	5,894
のれん償却額	2,744
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1
受取利息及び受取配当金	△3,396
為替差損益(△は益)	△52
持分法による投資損益(△は益)	374
固定資産売却損益(△は益)	2,658
投資有価証券評価損益(△は益)	2,208
売上債権の増減額(△は増加)	14,910
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,910
仕入債務の増減額(△は減少)	△846
未払金の増減額(△は減少)	△59,966
その他の資産の増減額(△は増加)	△5,824
その他の負債の増減額(△は減少)	△10,020
小計	△229,975
利息及び配当金の受取額	2,911
法人税等の支払額	△6,060
営業活動によるキャッシュ・フロー	△233,124
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	600,000
有形固定資産の取得による支出	△700
無形固定資産の取得による支出	△845
貸付金の回収による収入	344
その他	△472
投資活動によるキャッシュ・フロー	598,327
現金及び現金同等物に係る換算差額	52
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	365,255
現金及び現金同等物の期首残高	1,496,591
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,861,846

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	遺伝子破壊 マウス事業 (千円)	抗体事業 (千円)	試薬販売 事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	19,970	17,709	11,001	1,032	49,713	—	49,713
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	19,970	17,709	11,001	1,032	49,713	—	49,713
営業損失 (△)	△27,860	△11,361	△8,973	△1,310	△49,505	△121,589	△171,094

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分については、サービス及び製品の種類を考慮して分類しております。

2. 各事業に属する主要サービス及び製品の内容

事業区分	主要サービス及び製品
遺伝子破壊マウス事業	遺伝子破壊マウス作製及び当該マウスにかかる遺伝子機能情報等の提供
抗体事業	抗体の開発、製造及び販売
試薬販売事業	試薬の仕入、販売
その他事業	生殖工学技術研修等

3. 事業区分の方法の変更

事業区分の変更については、サービス及び製品の種類を考慮して3区分としておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、従来「その他事業」に含めて表示しておりました試薬販売事業の全セグメントに占める割合が高くなったため、試薬販売事業をその他事業から分離することといたしました。

この結果、従来の方法と比較して当第1四半期連結累計期間の売上高は、試薬販売事業が11,001千円増加し、その他事業が11,001千円減少しております。また、営業損失は、試薬販売事業が8,973千円増加し、その他事業が8,973千円減少しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	82,303
II 売上原価	40,548
売上総利益	41,755
III 販売費及び一般管理費	216,688
営業損失(△)	△174,932
IV 営業外収益	3,856
1 受取利息	3,237
2 その他	619
V 営業外費用	9,974
1 支払利息	184
2 持分法による投資損失	9,696
3 その他	93
経常損失(△)	△181,051
VI 特別利益	20,032
1 持分変動利益	20,032
税金等調整前四半期純損失(△)	△161,019
法人税、住民税及び事業税	1,921
少数株主損失(△)	△208
四半期純損失(△)	△162,732

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△161,019
減価償却費	19,178
のれん償却額	2,744
貸倒引当金の増減額(減少:△)	△17
受取利息及び受取配当金	△3,237
支払利息	184
持分法による投資損益(益:△)	9,696
持分変動利益	△20,032
売上債権の増減額(増加:△)	9,429
たな卸資産の増減額(増加:△)	3,042
未払金の増減額(減少:△)	△4,550
その他資産の増減額(増加:△)	10,150
その他負債の増減額(減少:△)	△13,774
小計	△148,201
利息及び配当金の受取額	3,214
法人税等の支払額	△6,983
営業活動によるキャッシュ・フロー	△151,970
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	20,030
有価証券の償還による収入	900,000
有形固定資産の取得による支出	△19,082
無形固定資産の取得による支出	△1,461
投資有価証券の取得による支出	△817
その他	△464
投資活動によるキャッシュ・フロー	898,204
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(減:△)	△80,000
長期借入金の返済による支出	△134,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△214,000
IV 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	532,234
V 現金及び現金同等物の期首残高	1,971,965
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	2,504,199

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

	遺伝子破壊 マウス事業 (千円)	抗体事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	52,676	17,003	12,624	82,303	—	82,303
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	52,676	17,003	12,624	82,303	—	82,303
営業損失（△）	△29,177	△5,873	△8,984	△44,035	△130,897	△174,932

(注) 1 事業区分の方法

事業区分については、サービス及び製品の種類を考慮して分類しております。

2 各事業に属する主要サービス及び製品の内容

事業区分	主要サービス及び製品
遺伝子破壊マウス事業	遺伝子破壊マウス作製及び当該マウスにかかる遺伝子機能情報等の提供
抗体事業	抗体の開発、製造及び販売
その他事業	動物飼育管理受託、試薬販売等

b. 所在地別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。